

業界イメージレポート2018 -コンビニエンスストア編-

2018年1月
株式会社リクルートジョブズ
ジョブズリサーチセンター

業界イメージレポート2018－コンビニエンスストア編－とは

「業界イメージレポート2018」は、特定の業界に対してもっているイメージについて、個人側と企業側に調査した結果をまとめています。本レポートはコンビニエンスストアを対象としたものです。

個人側は4セグメントに分かれます。現在就業している「A. 就業者」、過去に就業経験がある「B. 離職者」、コンビニエンスストアでの就業経験はないが就業に興味関心はある「C. 意向者」、コンビニエンスストアでの就業経験がなく就業に興味関心もない「D. 非意向者」です。なお、コンビニエンスストア編では企業側の回答者数が少ないためレポートでは割愛しています。

コンビニエンスストア業界全体に共通する魅力、もっと高められる魅力を理解する手がかりとしてご活用ください。

【目次】

回答者プロフィール	2
A. 就業者とB. 離職者	3
正社員と正社員以外	5
C. 意向者とD. 非意向者	7

調査概要

- ・調査名：特定業種に関する調査
- ・調査目的：求人と求職の需給ギャップがある特定業種における、労働者側と企業側双方の実態を把握し、今後解決策を模索する上での基礎資料とすること。
- ・調査方法：インターネット調査（クロス・マーケティング社モニター利用）
- ・調査期間：2017年9月27日（水）～9月29日（金）
企業側のみ追加調査 2017年10月27日（金）～11月13日（月）
- ・調査対象：20～59歳までの男女（全国）
 - 個人側
 - －現在、対象業種に従事している人
 - －過去に対象業種に従事したことがある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がない人
 - 企業側
 - －現在、対象業種に勤務しており、職位が管理職（課長・店長以上）・経営層、かつ人事・労務・教育または経営企画・総務業務を担当している人

セグメントごとの回答者数は下の表のとおり。本レポートの対象はコンビニエンスストアの、計700人。

	個人側				企業側	
	就業経験者		就業非経験者			
	A. 就業者	B. 離職者	C. 意向者	D. 非意向者		
コンビニエンスストア	200	100	200	200	4	
ホテル・旅館	200	100	200	200	20	
飲食店	ファーストフード	111	100	200	200	11
	居酒屋	156	100	200	200	13
アパレル・雑貨販売	200	100	200	200	21	
介護サービス	200	100	200	200	43	
ドライバー	200	100	200	200	101	

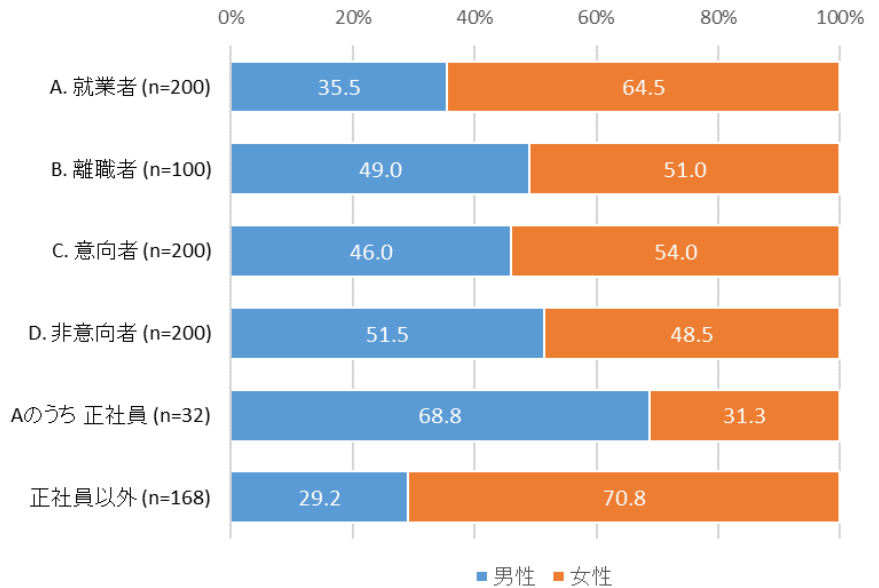
※ なお、四捨五入の関係で数表内の%の合計が100とならない場合がある。

回答者プロフィール

■ 性別

回答者の性別分布は、右のグラフのとおり。A.就業者は女性が64.5%で半数以上を占めている。

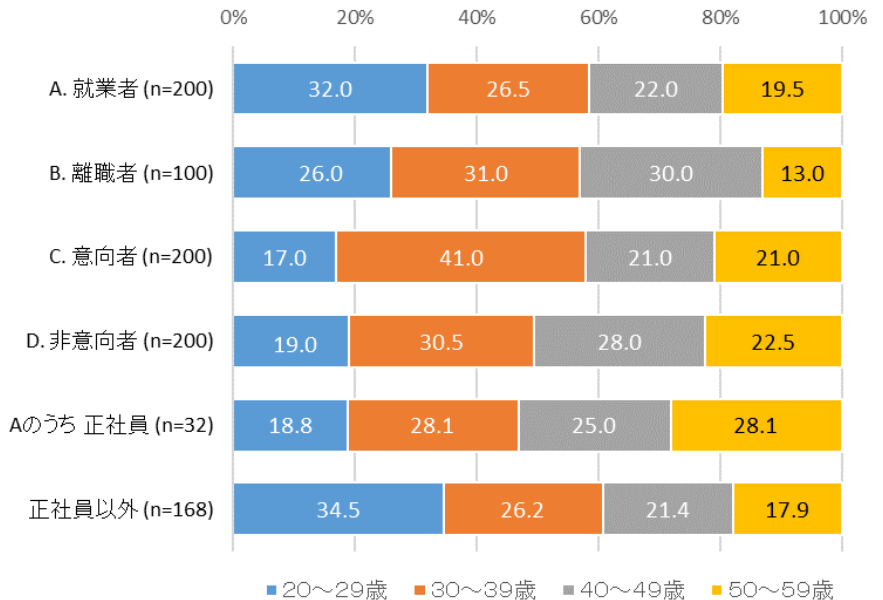
A .就業者のうち、正社員*1では、7割弱が男性、正社員以外*2では7割が女性となっている。



■ 年齢

回答者の年齢分布は、右のグラフのとおり。A.就業者は20代が32.0%でもっとも多く、30代が続く。

A.就業者のうち、正社員では30代、40代、50代が同程度、正社員以外では20代が比較的多い。



*1 自営業者などを少数含む。

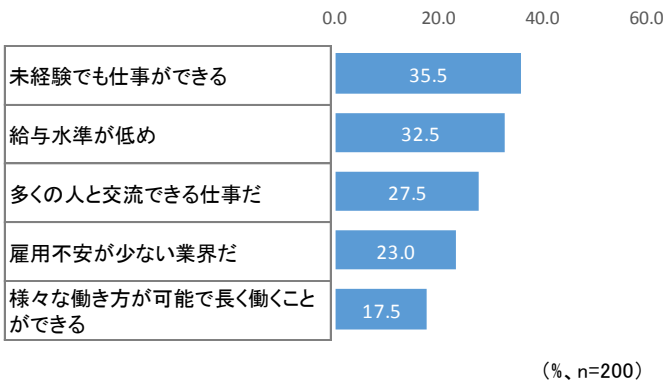
*2 パート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。なお、正社員以外のうち学生アルバイトは7.5%。

業界イメージ 1

A. 就業者とB. 離職者

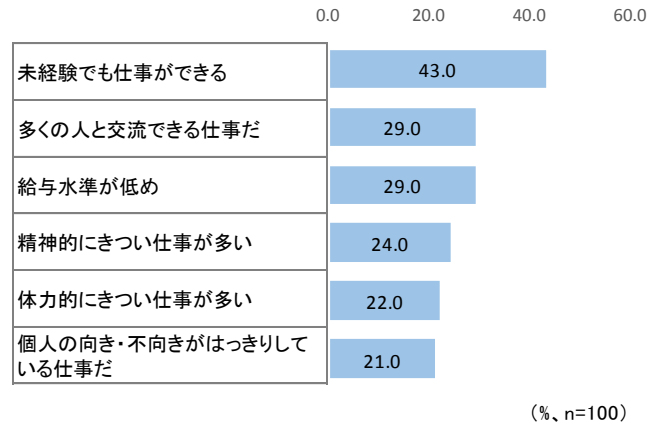
■ A. 就業者の上位5項目

現在就業者にコンビニエンスストアのイメージを聞くと、「未経験でも仕事ができる」や「多くの人と交流できる仕事だ」「様々な働き方が可能で長く働くことができる」といったポジティブなものが多い。



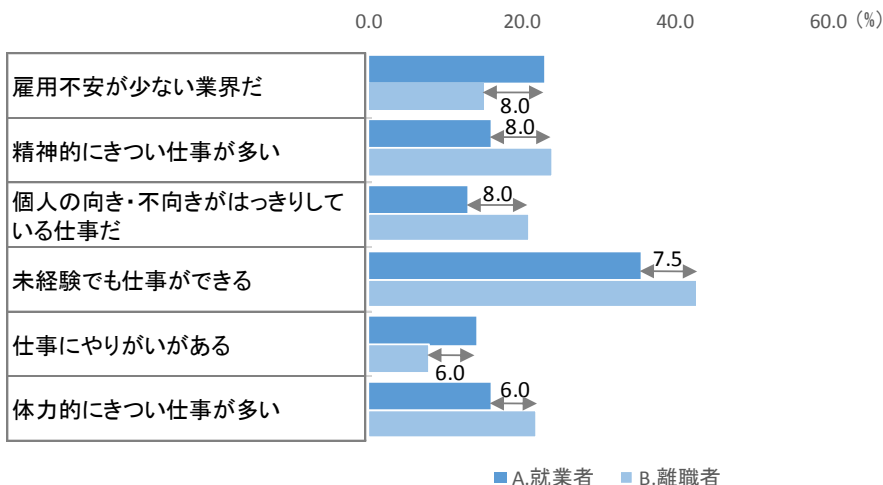
■ B. 離職者側の上位5項目

離職者にイメージを聞くと、「未経験でも仕事ができる」など上位3項目は就業者と共通しているが、「精神的にきつい仕事が多い」「体力的にきつい仕事が多い」も上位にあがった。



■ A. 就業者とB. 離職者のギャップが大きい5項目

「雇用不安が少ない業界だ」「仕事にやりがいがある」といったポジティブなものは就業者の方が高くギャップがある。一方、離職者の上位にあがった「精神的にきつい仕事が多い」「体力的にきつい仕事が多い」もギャップがみられる。

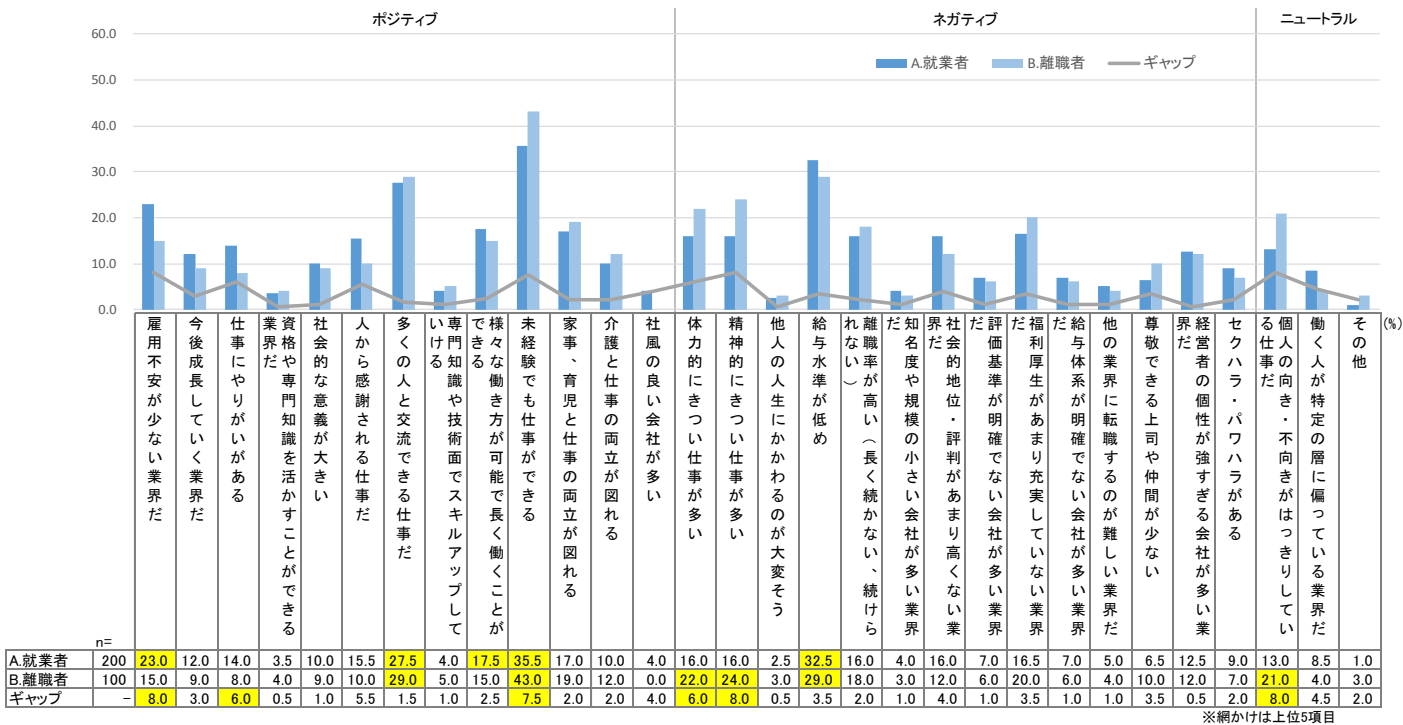


A. 就業者とB.離職者

コンビニエンスストア業界についてどのようなイメージをもっているか、現在コンビニエンスストアで働いている就業者と、離職者に聞いた。

就業者は「未経験でも仕事ができる」「多くの人と交流できる仕事だ」「様々な働き方が可能で長く働くことができる」とポジティブなイメージの割合が高いが、「給与水準が低め」といったネガティブなイメージももっている。離職者は「精神的にきつい仕事が多い」「体力的にきつい仕事が多い」などがあげられた。

両者のギャップをみると、「雇用不安が少ない業界だ」「仕事にやりがいがある」といったポジティブなものは就業者の方が高く、「精神的にきつい仕事が多い」「体力的にきつい仕事が多い」は離職者の方が高い。



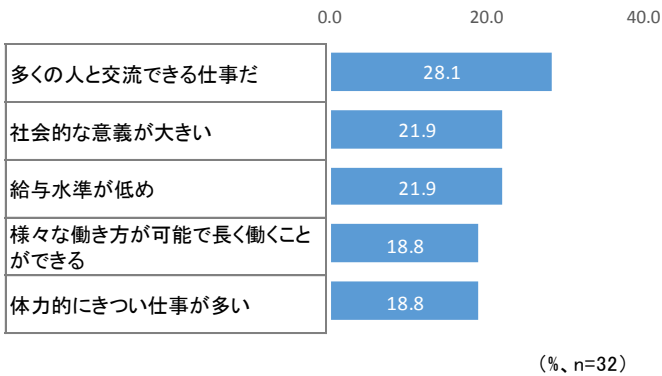
【A. 就業者、 B. 離職者】

Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／コンビニエンスストアの仕事（MA）

業界イメージ 2 正社員と正社員以外（A. 就業者）

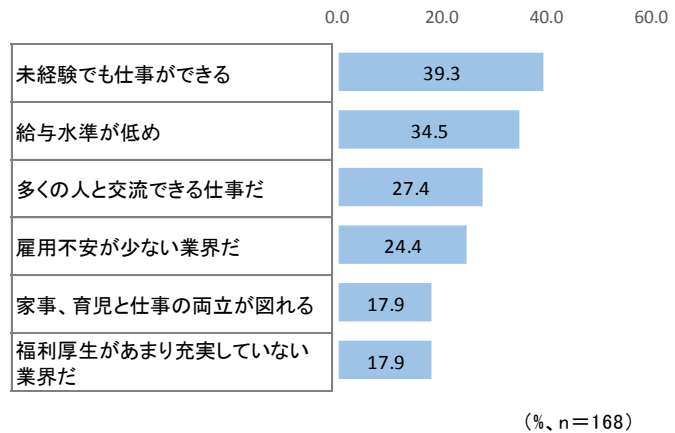
■ 正社員の上位5項目

正社員がもつイメージは、「多くの人と交流できる仕事だ」がもっとも高い。「社会的な意義が大きい」は、コンビニエンスストアが社会に果たす役割について、業務を通して日頃より感じているのかもしれない。



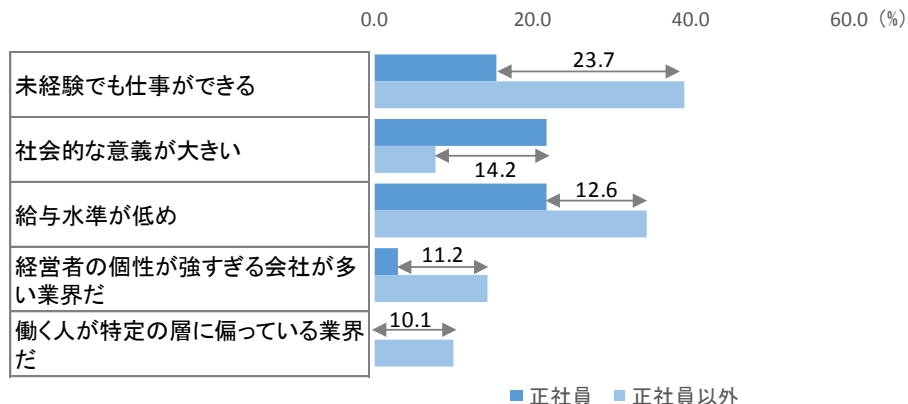
■ 正社員以外の上位5項目

ポジティブなイメージとして「未経験でも仕事ができる」「多くの人と交流できる仕事だ」のほか、「家事、育児と仕事の両立が図れる」も上位にあげられた。2時間～など短時間でも働ける店舗も増えている影響だろう。



■ 正社員と正社員以外のギャップが大きい5項目

正社員の上位5項目にある「社会的な意義が大きい」は正社員以外では1割以下となり、ギャップが大きい。業務の違いによる影響と考えられるが、店舗運営を通して感じる社会的な意義をスタッフ全員で共有できるようにするとコンビニエンスストアで働く魅力も増すだろう。

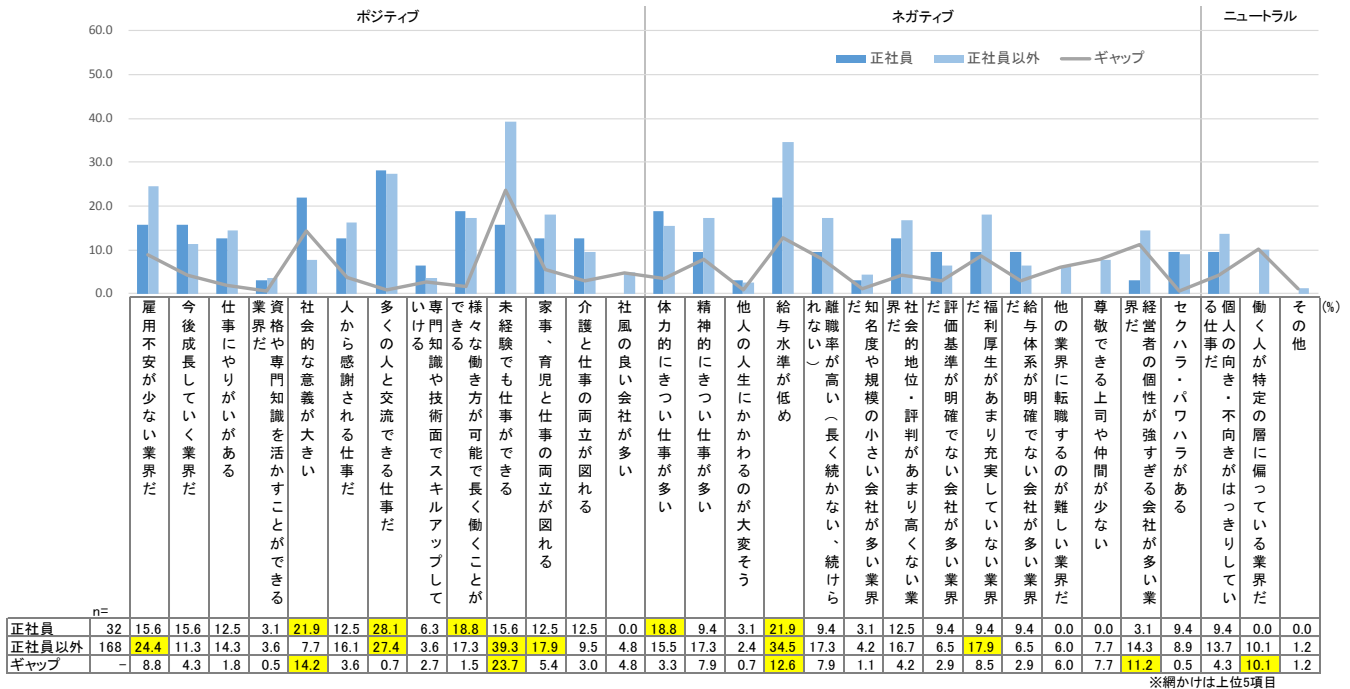


正社員と正社員以外 (A. 就業者)

正社員と正社員以外に分けてみてみよう。

正社員がもつイメージは、「多くの人と交流できる仕事だ」がもっとも高い。続く「社会的な意義が大きい」はコンビニエンスストアが社会に果たす役割を、業務を通して日頃より感じているのかもしれない。正社員以外は、「未経験でも仕事ができる」「多くの人と交流できる仕事だ」のほか、「家事、育児と仕事の両立が図れる」も上位にあげられた。コンビニエンスストアは2時間～など短時間でも働ける店舗が増えている影響も考えられる。

両者のギャップをみると、正社員では上位にあげられる「社会的な意義が大きい」は正社員以外では1割以下となり、ギャップが大きい。業務の違いによる影響と考えられるが、店舗運営を通して感じる社会的な意義をスタッフ全員で共有できるようにするとコンビニエンスストアで働く魅力も増すだろう。



[A. 就業者]

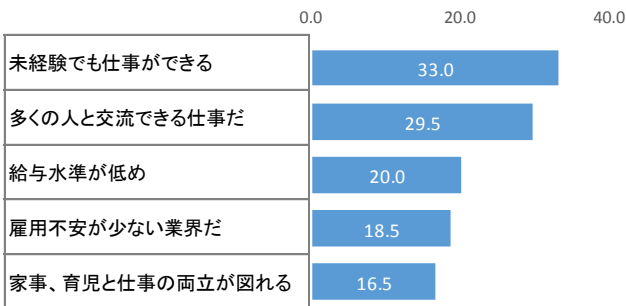
Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／コンビニエンスストアの仕事 (MA)

業界イメージ 3

C. 意向者とD. 非意向者

■ C. 意向者の上位5項目

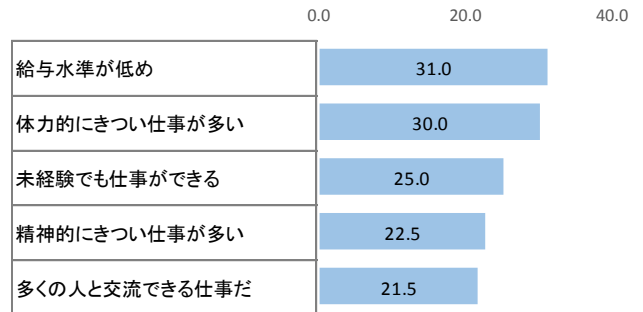
意向者のコンビニエンスストアに対するイメージは「未経験でも仕事ができる」「多くの人と交流できる仕事だ」など、就業者と共通の項目が上位になっている。「家事、育児と仕事の両立が図れる」は就業者の正社員以外と共通している。



(%, n=200)

■ D. 非意向者の上位5項目

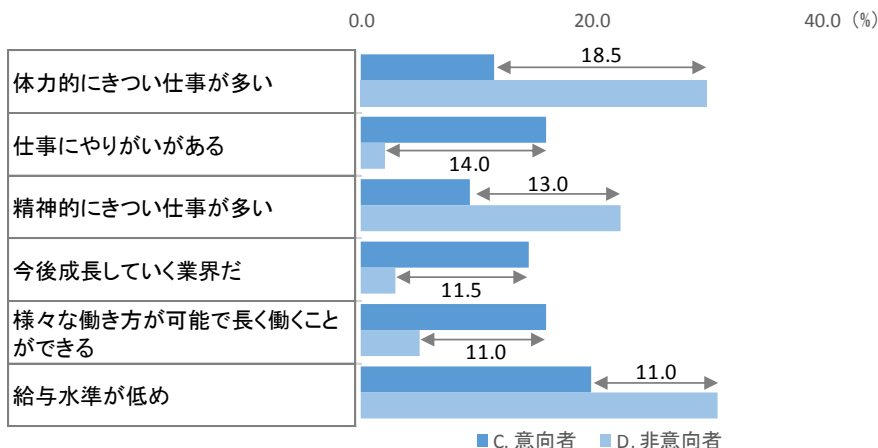
非意向者にコンビニエンスストアのイメージを聞くと、「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」がまずあがっている。一方で「未経験でも仕事ができる」「多くの人と交流できる仕事だ」は意向者と同じく上位にあがる。



(%, n=200)

■ C. 意向者とD. 非意向者のギャップが大きい項目

「体力的にきつい仕事が多い」は非意向者の方が高く、ギャップがもっとも大きい。就業者や正社員の上位にあげられた「様々な働き方が可能で長く働くことができる」も意向者と非意向者でのギャップが大きい。



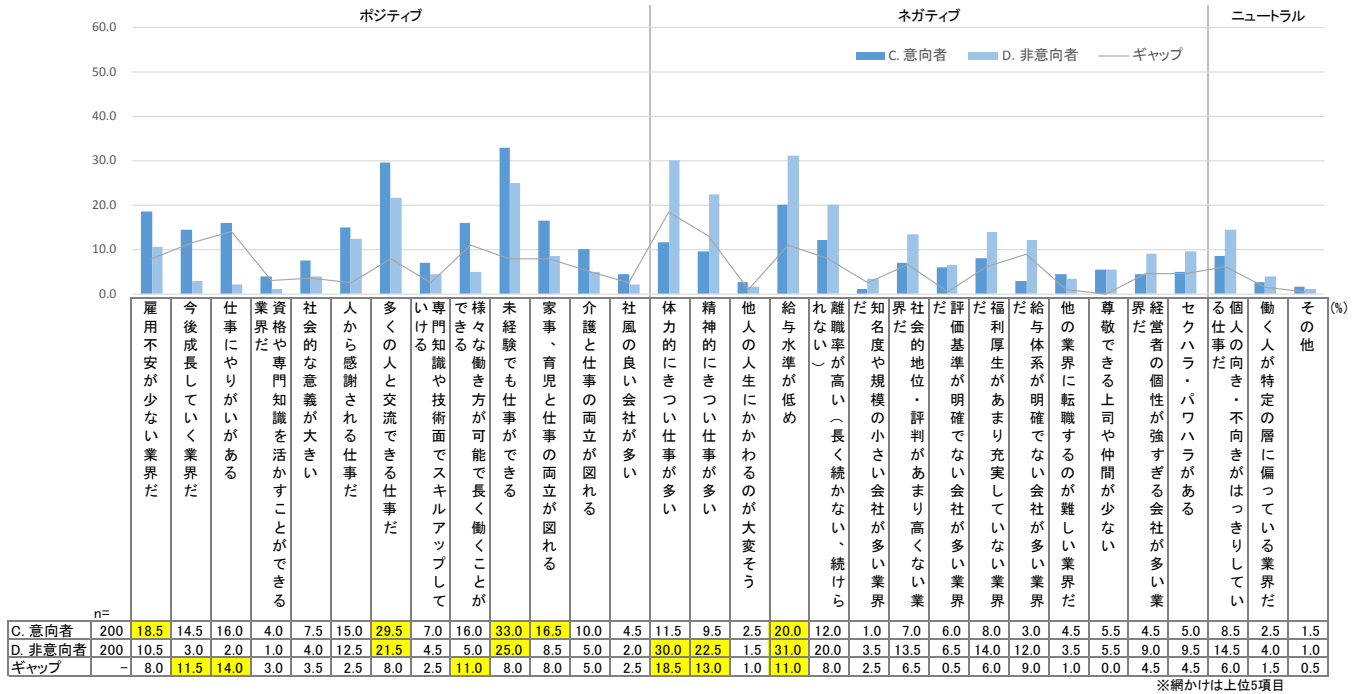
C. 意向者とD. 非意向者

意向者と非意向者に、コンビニエンスストアのイメージを聞いた。

意向者のコンビニエンスストアに対するイメージは「未経験でも仕事ができる」「多くの人と交流できる仕事だ」など、就業者と共通の項目が上位になっている。

非意向者では、「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」というネガティブなイメージがまずあがっている。一方で「未経験でも仕事ができる」「多くの人と交流できる仕事だ」は意向者と同じく上位にあがる。

ギャップをみると、離職者でも上位になっている「体力的にきつい仕事が多い」は非意向者が高く、ギャップがもっとも大きい。就業者や正社員の上位にあげられた「様々な働き方が可能で長く働くことができる」は意向者は就業者や正社員と同程度だが、非意向者は1割以下でギャップが大きい。



【C. 意向者、D. 非意向者】

Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／コンビニエンスストアの仕事（MA）